

科目の種類	必修	科目名	化学	学年	2	単位数	3
コース	スポーツコース						
教科書	東京書籍「新編 化学」						
副教材							
科目のねらい							
<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中にある化学に関係する事柄を身近なものにします。</li> <li>化学の基礎になる「物質の構造」「物質の状態」「物質の変化」「物質の性質」「有機化学」の法則や原理について学習します。</li> <li>化学の学習を通して、理論的に考える力を養います。</li> </ul>							
授業の進め方							
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の理科での学習を基礎として、高校生としての化学的な知識を身につけられるように授業を展開します。</li> <li>必要に応じて演示実験を行いながら、説明だけではわかりにくい内容を補っていきます。</li> <li>問題演習や小テストを行い、理解の程度を確認していきます。</li> </ul>							
より良く学習を進めるためのアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> <li>理科（化学）は難しくて解からないという先入観をなくして授業に臨んでください。</li> <li>化学には理解しておくべく基本的なチェックポイントがあります。このポイントをしっかりとおさえれば必ず良い結果が出ることを信じてください。</li> <li>化学は基本的な知識を蓄積し、それを応用することが多い科目です。授業を休まないことや家庭での復習による知識の定着が重要になります。</li> </ul>							
評価方法							
<p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間5回の定期テストを行います。</li> <li>テスト点の70%を成績に換算します。</li> <li>テストは授業中に扱った内容から出題します。基本的な知識、計算をしっかりと習得することと、それらの力を応用した問題を出题します。</li> </ul>							
<p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成績の30%を平常点から換算します。</li> <li>平常点は主に授業中の態度、出席、小テストの結果、提出物などの状況から評価します。</li> </ul>							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	第1章 物質の構成 1 物質の構成 2 原子の構造と化学結合	1・純物質と混合物について学習し、混合物を分離する方法を説明します ・物質を構成する元素について学習します。 2・原子の構造を理解します。 ・イオン結合、共有結合、金属結合などの化学結合を学習します。
	第1階	定期考査
後期	3 物質質量と化学反応式	3・化学の基本単位である物質質量 (mol) について学習します。 ・物質質量と分子の数・質量・体積との関係を理解し、計算方法を学習します ・化学の基本である化学反応式を書けるようにします。 ・化学反応と物質質量との関係を理解します。 ・mol 濃度・質量パーセント濃度の表し方を理解し、濃度計算ができるようにします。
	第2回	定期考査
	第2章 物質の変化 1 物質の変化と熱 2 酸と塩基	1・反応熱の存在を学習し、熱化学方程式を書けるようにします。 ・ヘスの法則を理解します 2・酸と塩基の定義を学習します。 ・pH の考え方と算出の方法を学習します。 ・中和の定義を理解し中和反応式が書けるようにします。 ・中和滴定における中和の量的関係を理解します。
	第3回	定期考査
	3 酸化還元反応	3・酸化還元反応の定義、酸化数を学習し、酸化還元反応を理解します。 ・金属のイオン化傾向を理解し、電池、電気分解について学習します。
	第4回	定期考査
	第4章 有機化合物 1 有機化合物の特徴と構造 2 炭化水素 3 酸素を含む脂肪族化合物	1・有機化合物の特徴や構造について学習します。 2・基本的な有機化合物である炭化水素の構造や特徴、性質について学習します。 3・アルコールをはじめとする酸素を含む有機化合物の構造や特徴、性質について学習します。
	学 年	学 末 考 査